

【今週の注目疾患】

【蚊媒介感染症（デング熱・チクングニア熱・ジカウイルス感染症）】

2019年第42週に県内医療機関から1例のチクングニア熱の届出があり、2019年の累計は5例となった。2019年はチクングニア熱を含め、蚊媒介感染症の届出が多くなっている（表1、表2）。東南アジアではデング熱の大きな流行が報告されており、またチクングニア熱の流行を認める地域もある。デング熱、チクングニア熱やジカ熱はネッタイシマカやヒトスジシマカなどのヤブカによって媒介される発疹性熱性疾患であるが、媒介蚊であるヒトスジシマカは日本でも身近な蚊の一種である。2013年には、ドイツ人渡航者が日本でデング熱に感染したと疑われる症例が報告され、2014年には162例のデング熱国内感染例が届け出られている。この時は県内を推定感染地とする症例も1例認められた。2019年にもデング熱の国内感染例が届け出られており、蚊媒介感染症の小規模な国内感染例の発生が認められた。来年の東京2020オリンピック・パラリンピックでは多くの訪日観光客も見込まれ、流行国での発生状況によっては、国内に侵入するリスクも高まる可能性があるため、注意が必要である。

表1：2018年第1週～2019年第42週に県内医療機関から届け出られたデング熱症例の推定感染地 n=33

	診断年・月																							
	2018年												2019年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
フィリピン			1												1	1			2	1				
インド							1												1		1	1		
カンボジア							1	2					1							2		1		
ミャンマー										1														
推定 感染地											1	1			1	1								
インドネシア											1													
ナイジェリア											1													
マレーシア												1			1									
東ティモール														1										
地 タイ															2				1					
フィジー																1								
バングラデシュ																			1					
ベトナム																				1				
二か国以上（中米・南米）																1								
総数			1				2	2		1	2	2	1	1	5	3	1	3	5	2	2			

表1：2018年第1週～2019年第42週に県内医療機関から届け出られたチクングニア熱症例の推定感染地 n=6

	診断年・月																							
	2018年												2019年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
推定 感染地											1											1		
タイ											1											1		
インドネシア														1										
ミャンマー																				1	1	1		
総数											1			1						1	2	1		

千葉県健康福祉部疾病対策課：デング熱関連情報

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/mos-borne/dengue.html>